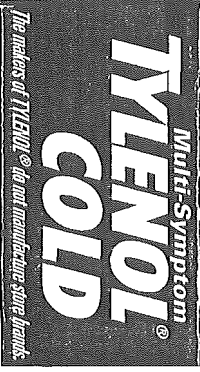


Clinical Services

- Tuberculosis Compliance Program
- Travelers Clinic
- Emergency Contraception
- Screenings
 - Diabetes – assess diabetes risk and perform blood sugar level testing
 - Hypertension – perform blood pressure measurements using Dynapulse® program
 - Osteoporosis – perform ultrasound to assess risk for developing osteoporosis
 - Cholesterol – test for HDL, TG, LDL, Total Cholesterol using blood sample on the Cholestech® Machine
 - Immunizations (Flu Vaccine) – Give influenza vaccinations during the flu season
 - Health Fairs – Conduct screening events with students, residents, and faculty for members of the community throughout the year
 - OTC counseling and product selection – assist patients and provide professional advice on medications available over-the-counter



Drug Facts

Active ingredients (in each caplet)
 Acetaminophen 325 mg.....Pain reliever/fever reducer
 Dextromethorphan HBr 15 mg.....Cough suppressant
 Pseudoephedrine HCl 30 mg.....Nasal decongestant

Purpose

Temporarily relieves these cold symptoms:
 ■ cough
 ■ minor aches and pains
 ■ nasal congestion
 ■ temporarily reduces fever

Warnings
 Alcohol warning: If you consume 3 or more alcoholic drinks every day, ask your doctor whether you should take acetaminophen or other pain relievers/fever reducers. Acetaminophen may cause liver damage.
 Sore throat warning: If sore throat is severe, persists for more than 2 days, is accompanied or followed by fever, headache, rash, nausea or vomiting, consult a doctor promptly.

Drug Facts (continued)

Stop use and ask a doctor if
 ■ new symptoms occur
 ■ redness or swelling is present
 ■ pain gets worse or lasts for more than 7 days
 ■ fever gets worse or lasts for more than 3 days
 ■ you get nervous, dizzy or sleepless
 ■ cough lasts more than 7 days, comes back or occurs with fever, rash or headache that lasts.
 These could be signs of a serious condition.
 If pregnant or breast-feeding, ask a health professional before use.
Keep out of reach of children.
Overdose warning: Taking more than the recommended dose (overdose) could cause serious health problems. In case of overdose, get medical help or contact a Poison Control Center right away. Quick medical attention is critical for adults as well as for children even if you do not notice any signs or symptoms.

Directions
 ■ do not take more than directed (see overdose warning)

adults and children 12 years and over	take 2 caplets every 6 hours as needed
children 12 years and over	do not take more than 8 caplets in 24 hours
children under 12 years	not intended for use in children under 12. Ask your doctor.

Other information
 ■ do not use if carton is opened or if blister unit is broken
 ■ store at room temperature
 ■ see side panel for lot number and expiration date

Drug Facts (continued)

Uses temporarily relieves these cold symptoms:
 ■ cough
 ■ minor aches and pains
 ■ nasal congestion
 ■ temporarily reduces fever

Warnings
 Alcohol warning: If you consume 3 or more alcoholic drinks every day, ask your doctor whether you should take acetaminophen or other pain relievers/fever reducers. Acetaminophen may cause liver damage.
 Sore throat warning: If sore throat is severe, persists for more than 2 days, is accompanied or followed by fever, headache, rash, nausea or vomiting, consult a doctor promptly.

Do not use
 ■ if you are now taking a prescription monoamine oxidase inhibitor (MAOI) (certain drugs for depression, psychiatric or emotional conditions, or Parkinson's disease), or for 2 weeks after stopping the MAOI drug. If you do not know if your prescription drug contains an MAOI, ask a doctor or pharmacist before taking this product.
 ■ with any other product containing acetaminophen

Ask a doctor before use if you have
 ■ heart disease ■ diabetes ■ thyroid disease
 ■ cough that occurs with too much phlegm (mucus)
 ■ high blood pressure
 ■ trouble urinating due to an enlarged prostate gland
 ■ chronic cough that lasts as occurs with smoking, asthma, chronic bronchitis or emphysema

When using this product
 ■ do not exceed recommended dosage

Drug Facts (continued)

Inactive ingredients
 carnauba wax, cellulose, corn starch, D&C Yellow #10, FD&C Blue #1, hypromellose, iron oxide, magnesium stearate, sodium starch glycolate, titanium dioxide, triacetin

Questions or comments?
 call toll-free 1-877-TYLENOL (1-877-895-3665)

NEW LABEL INFORMATION

NDG-50580-459-24

Multi-Symptom

TYLENOL

Pain Reliever
 Fever Reducer
 Cough Suppressant
 Nasal Decongestant

COLD

DAY NON-DROWSY

CONTAINS 3 INGREDIENTS:

- Headache / Sore Throat → Acetaminophen
- Nasal Congestion → Pseudoephedrine HCl
- Coughing → Dextromethorphan HBr

Caplets

有効性情報に関する患者用アンケート

このアンケートは、高血圧と診断されて「カルシウム拮抗薬」をのんでいる方をお願いしています。この薬は長期間にわたりのんで頂くことが重要です。そこで、この薬をおのみになる上でどのような説明文が好ましいかを検討しています。以下の質問にお答え下さい。

● くすりの効き目に関する説明です。

下の8つの文章のうち、貴方にとって好ましいと思う文章を2つ選び、順番をお付け下さい。

	高血圧症の人の血圧を下げます。
	高血圧症の人の、血管に関係するカルシウムの働きを抑え、血管を拡げて血圧を下げます。
	高血圧症の人の、血管に関係するカルシウムの働きを抑え、血管を拡げて血圧を下げることにより、高血圧の症状である頭痛やほてりなどを改善します。
	血圧が高いと診断された高血圧症の人に用います。
	血管に関係するカルシウムの働きを抑え、高血圧症の人の血圧を下げます。
	血管に関係するカルシウムの働きを抑え、血管を拡げて、高血圧症の人の血圧を下げます。
	血管に関係するカルシウムの働きを抑え、血管を拡げて血圧を下げることにより、高血圧の症状(頭痛や肩こり、後頸部の頭重感など)を改善します。
	血管を緊張させる原因であるカルシウムの濃度を下げることにより、血管を拡げて血圧を下げ、高血圧の症状(頭痛や肩こり、後頸部の頭重感など)を改善します。

● 規則的にのむことの大切さに関する説明です。

下の文章が説明の中に書かれている方がよいと思われませんか？

よいと思われる方は、6つの中からほしいと思う文章を選び、順番をお付け下さい。(いくつでも結構です)

	この薬は、高血圧の原因そのものを治すものではありません。
	この薬は、血圧をコントロールするためにのむものです。
	医師の指示に従って、のみつづける必要があります。
	自己判断で勝手に中止しないで下さい。
	自己判断で勝手に中止した場合、血圧が急に上がる場合があります。
	自己判断で勝手に中止した場合、薬で拡げていた血管が急に緊張して血圧があがる場合があります。

年齢()才、性別(男、女)、入院()日目

血圧の薬をのみ始めてからの期間:約()年()ヶ月

薬の情報はおもに(病院薬剤師、保険薬局、インターネット、本、その他:)から得ている。

ご協力有り難うございました。

分担研究報告

厚生労働科学研究費補助金（医薬安全総合研究事業）
分担研究報告書

文章による医療情報に対する患者理解度に関する研究

分担研究者 高橋隆一 国立病院東京医療センター名誉院長
研究協力者 山元俊憲 昭和大学薬学部 教授
佐々木圭子 昭和大学薬学部 助手

研究要旨：患者・国民への医薬品情報提供を行う上では、患者・国民が理解できる用語を用いる必要があることから、医療情報に対する理解度を調査した。調査に用いた資料は、医療従事者から患者へ説明する際に用いられるPMIと、一般大衆新聞に記載されている医療関係の解説文である。調査の結果、患者・国民は双方を高い確率で理解していた。患者向けの文書作成時に際しては、専門性の高い用語を除き医療用語を使用した場合であっても、理解されることが分かった。

A. 研究目的

医療用医薬品の有効性情報を患者に分かりやすく説明するうえでは、添付文書に記載されている効能・効果に記載されている疾病名を患者用語で表現することが重要である。しかしながら患者・国民が単語としての医療用語や日常的に接する医療に関する解説についてどの程度理解しているのかによって、表現方法を変える必要がある。そこで、医療従事者が患者に説明する際に利用することを目的に作成された資料（PMI）と、一般大衆紙面上に掲載されている医療解説を資料として用いて、これらに対する患者・国民の理解度をアンケートによって調査し、分かりやすい患者向け情報提供文書作成に資することを目的とした。

B. 研究方法

医療従事者が患者に説明する際に利用することを目的に作成された資料としては、日本RAD-ER協議会の「フロモックス[®]錠」に関する「くすりのしおり」を使用した。

一般大衆紙面上に掲載されている医療解説を資料としては、読売新聞の平成14年8月25日に掲載された「傷口の処理」に関する解説を読売新聞の転載許可を得た上で使用した。アンケート調査は、同一人に2つの資料を読んだ後、文章全体の理解と分からなかった場合の要因となった単語について回答してもらうこととした。調査期間は、平成15年2月8日～11日。調査対象は、20代～50代の男女。調査方法は、Web環境を利用したオンライン・パネル手法を用いた。

（倫理面への配慮）

回答者のプライバシーに関しては、無記名回答とした。

C. 研究結果

有効回答数110件であった。その内訳は、男：52名、女：58名、年代別には11名～15名とほぼ均等に回答が得られた。「くすりのしおり」では、7つの文章を提示したが、それぞれについて「文章全

体が分かった」「分からない単語もあるが文章全体は分かった」と回答した理解層は90%以上であった。文章の中で理解を妨げた単語をみると、「病巣」「病んだ部分」

「セフェム系」「ペニシリン系」「ショック」「気管支喘息」「作用」「粘膜」が、単語そのものの意味およびこれらを含んだ文章の意味も分からないと回答した。

「医療記事」では、12の文章を提示したが、11の文章についてはそれぞれ92%以上が理解層であった。「分からないところがある」が18%を占めた1つの文章では医療の専門用語（体液）を他の分野の専門用語（カクテル）で表現しようとしていた。文章の中で理解を妨げた単語は、「湿润状態」「カット絆」が、単語そのものの意味およびこれらを含んだ文章の意味も分からないと回答した。

文章に関して「分からないところがある」と「全く分からない」と回答した非理解層の、単語と文章の関連について「単語および文章の意味が分からない」とした人は、年代別には20代が最も多く年代が上がる毎に減少した。また、本人や家族が入院するなど医療との関係が薄い人ほど多かった。男女では、男性が多かった。

D. 考察

2つの資料を基に行った調査から、医療専門用語が含まれている文章に対する患者・国民の理解度はかなり高いとの結果が得られた。「くすりのしおり」より「医療記事」に対する理解度がやや高いとの結果は、新聞記事は中学生レベルを読者対象とされていることからみても当然であろう。一方PMIとして作成されている「くすりのしおり」に対する理解度も予想以上に高かった。このことから、患者国民向けの情報提供にはある程度の医療用専門用語を用いて行うことが可能であることが分かった。

ただ今回の調査では、理解層が医療従事者が意図している意味を誤解なく理解しているかどうかを調査していないため、今後検討する必要がある。

単語と文章の関連からは、生活経験が豊富になるほど理解度は高まることが分かった。このことは若年層の知識を上げること、更に理解度は高まるであろうと考えられた。今後は患者はもとより義務教育時期から医療関連の教育をカリキュラムに取り入れる必要があろう。

E. 結論

今回の調査から、医療用語が含まれている文章に対する理解度はかなり高いと考えられた。患者・国民への情報提供は、医療用語を使用した場合も理解されることが分かった。このことから使用可能な医療用語の範囲を決めることにより、その用語を基にした説明文書作成の可能性が示唆された。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

特になし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

医療用語に関する患者の理解度調査

A. 目的

患者・国民向けの標準的な服薬説明書作成にあたって、どの年齢層を対象とした言葉を使用するのが良いのか、その基礎資料とするために患者・国民の医療用語に対する理解度を調査する。

B. 方法

【調査期間】

2003年2月8日～11日

【調査対象】

20～59歳の男女

【調査方法】ダイナミックリサーチ手法（Web環境を利用したオンライン・パネル手法）

【有効回答数】

110

【調査資料】

資料1：「薬のしおり」 日本 RAD-ER 協議会作成 フロモックス^R錠 薬のしおり

資料2：「医療記事」 新聞の医療に関する記事

【調査方法】対象者に、資料1「薬のしおり」および資料2「医療記事」を呈示し、あらかじめ指定した文章の理解度を、「文章全体がわかった」、「わからない単語もあるが文章全体の意味はわかった」、「一部わかるがわからないところがある」および「全くわからない」の中より選択してもらう。次に「一部わかるがわからないところがある」あるいは「全くわからない」を選択した人に対し、文章の理解を妨げた単語を列挙してもらい、列挙した単語が「単語の意味はわかるが、この文章での意味がわからない」および「単語そのものの意味がわからないので文章の意味がわからない」の中から選んでもらうことにより理解度の調査を行った。

C. 結果

C-1 患者背景

対象者の背景を Table 1 と Table 2 に示す。

Table 1 対象者背景-1

	男 人 (%)		女 人 (%)	
20歳代	11	(10.0)	15	(13.6)
30歳代	15	(13.6)	15	(13.6)
40歳代	13	(11.8)	14	(12.7)
50歳代	13	(11.8)	14	(12.7)
合計	52	(47.3)	58	(52.7)

Table 2 対象者背景-2

医療関係への就業・就学状況	人 (%)
現在関係する仕事をしたり勉強をしている	12 (10.9)
以前そのような仕事をしたり勉強をしていた	8 (7.3)
そのような仕事をしたり専門的勉強をしたことはない	90 (81.8)
最近の入院経験	人 (%)
自分自身入院をしたり長い治療を受けたことがある	14 (12.7)
同居する家族が入院や長い治療を受けたことがある	20 (18.2)
どちらにも当てはまらない	75 (69.1)
医療・薬事情報への関心	人 (%)
大変興味や関心がある	34 (30.9)
まあ興味や関心がある	59 (53.6)
どちらともいえない	10 (9.1)
あまり興味や関心がない	5 (4.5)
まったく興味や関心がない	2 (1.8)

C-2 「薬のしおり」の理解度

「薬のしおり」中の調査対象とした文章を Table 3 に、文章の理解度を調査した結果を Fig. 1 に示す。「一部わからないところがある」と「全くわからない」を選択した理解していない層の多さで比べると、文章⑤が 9.9%と最も多かった。また、文章②において「文章全体がわかった」と答えた人の割合が最も低く 34.5%であり、非理解層の割合も 6.4%と文章⑤に続いて多かった。「薬のしおり」の中で文章の理解を妨げたとして列挙された単語を Table 4 に示した。

Table 3 「薬のしおり」中の調査対象とした文章

文章①感染症（病気）の原因となる細菌が身体の病巣（病んだ部位）で増えるのをおさえる薬です。

文章②次のような人は使う前に主治医に相談して下さい。以前にこの薬やこの系統（セフェム系）またはペニシリン系の抗生物質で、ショック、発疹等のアレルギー症状を起したことがある人、あなた自身または両親、兄弟が気管支喘息、発疹、じんましん等のアレルギー症状を起したことがある人、腎臓の病気のある人。

文章③飲み忘れた場合、気がついたときにできるだけ早く1回分を飲み、あとは指示どおりの時間に飲んで下さい。

文章④高齢者の場合、特に主治医の指示を守って飲んで下さい。

文章⑤薬は人によって、目的の効果以外に、望ましくない作用が出る場合もあります。

文章⑥次のような症状に気づいたら、使用をやめてすぐに主治医に相談して下さい。胸がドキドキする、息苦しい、めまい、発汗、発疹や皮膚のかゆみ、全身の皮膚がひどく痛い、皮膚や粘膜の水ぶくれ、顔や手足のむくみ、のどが痛い、発熱、腹痛・下痢が続く、咳が出る、皮膚や白目が黄色くなる。

文章⑦次のような症状に気づいたら、なるべく早めに主治医に相談して下さい。下痢、むかむかする、胃痛、体がだるい、頭痛、眠気、めまい、手足がしびれる

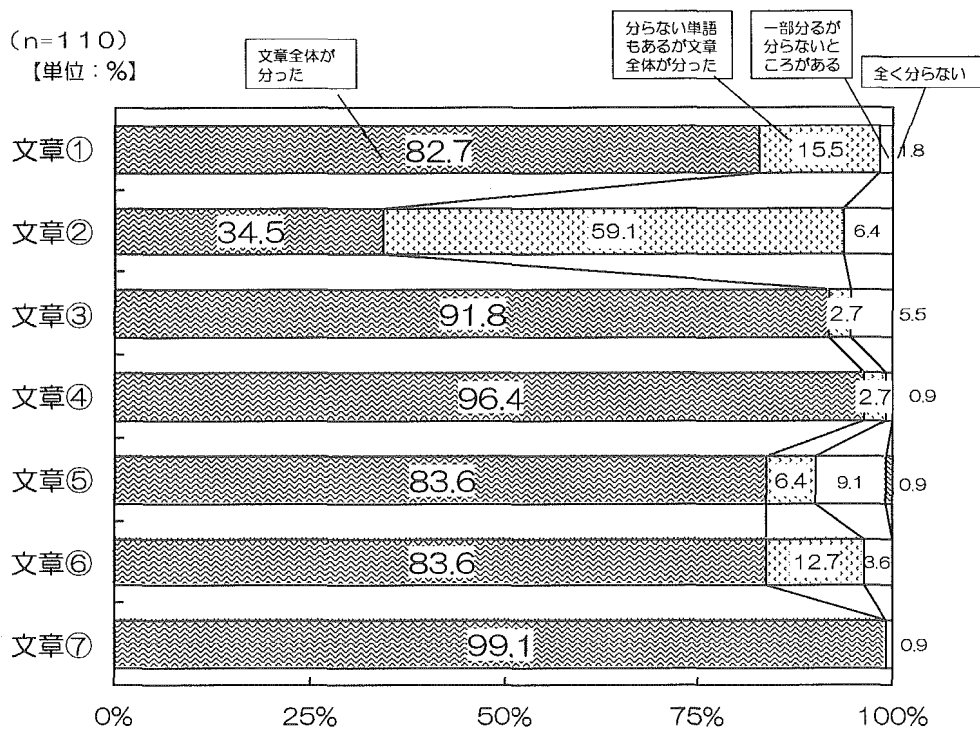


Fig. 1 「薬のしおり」の理解度

Table 4 「薬のしおり」の中で理解を妨げた単語

(人数)	単語の意味はわかるが、文章中での意味がわからない	単語そのものの意味、文章意味がわからない
文章①	感染症 (1) 増える (1)	病巣 (2) 病んだ部分 (1)
文章②	系統 (3) セフェム系 (1)	セフェム系 (6) ペニシリン系 (3) ショック (1) 気管支喘息 (1)
文章③	飲み忘れた場合 (1) 気がついたとき (2) できるだけ早く (3) 一回分 (1) 指示 (2) 時間 (2)	
文章④	高齢者 (1)	
文章⑤	以外 (3) 望ましくない (11) 作用 (2)	作用 (1)
文章⑥	主治医 (1) 粘膜 (2) 水ぶくれ (1)	粘膜 (2)
文章⑦	主治医 (1)	

C-3 「医療記事」の理解度

「医療記事」中の調査対象とした文章を Table 5 に、文章の理解度を調査した結果を Fig. 2 に示す。「一部わからないところがある」と「全くわからない」を選択した非理解層の多さでく比べると、文章⑬が 18.2%と最も多く、「文章全体がわかった」と答えた人の割合も 64.5%と最も低くかった。「薬のしおり」の中で文章の理解を妨げたとして列挙された単語を Table 6 に示した。

Table 5 「医療記事」中の調査対象とした文章

<p>文章⑧消毒のうえガーゼをして、かさぶたを作るよう早く乾燥させて——こんな方法が、まだ一般的だろう。</p> <p>文章⑨傷口は乾かすより、ぴったり覆って 湿潤状態を保つ方が早くきれいに治ることが最近わかり、100 年来の医療の考え方が大きく転換されて来ています</p> <p>文章⑩皮膚が傷つくと、修復を図る自然治癒力が発揮される。</p> <p>文章⑪その際、傷口からにじみ出る体液が重要な役割をする。</p> <p>文章⑫外気に触れた体液はかさぶたになり、その下では表皮が再生され、コラーゲンや毛細血管が再形成されて傷を埋めていくのだ。</p> <p>文章⑬体液は傷口を治す“カクテル”。できるだけ乾燥を防ぐことが大切です</p> <p>文章⑭傷口は消毒するよりも、すばやく 水道水で異物や細菌を洗浄する。</p> <p>文章⑮再生すべき細胞が消毒薬で破壊されて、かえって 治りが遅くなることもある。</p> <p>文章⑯ガーゼの繊維が傷の中に入り込んで、はがす時に引っ張られて 治りかけの皮膚を壊すことにもなる。</p> <p>文章⑰体液をむやみに拭(ふ)かず、救急絆創膏(ばんそうこう)(カット絆)などを当てる。やけどのできた水疱(すいほう)も破らないようにした方がいい。</p> <p>文章⑱体液は半透明でさらっとしており、色がにごって、臭(におい)のある膿(うみ)とは違う。</p> <p>文章⑲アメリカの実験では傷面をそのままにして乾かすよりもカット絆をした方が2倍早く治る。それも湿潤状態にすると、さらに2倍早いという結果が出ている。</p>
--

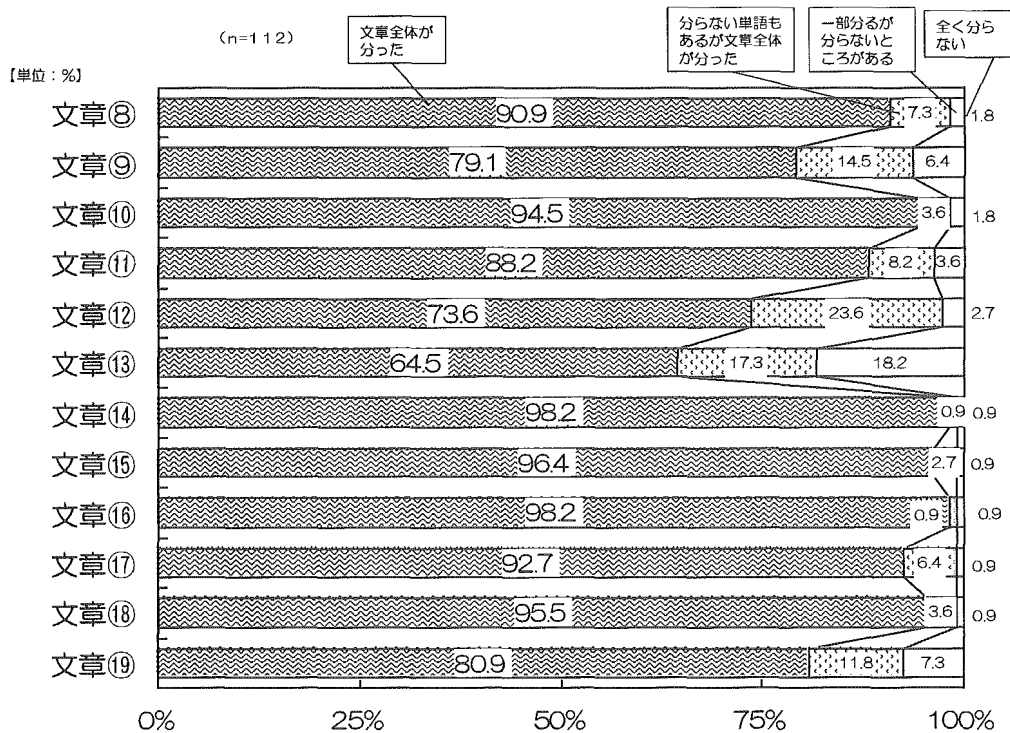


Fig. 2 「医療記事」の理解度

Table 6 「医療記事」の中で理解を妨げた単語

(人数)	単語の意味はわかるが、文章中での意味がわからない	単語そのものの意味、文章意味がわからない
文章⑧	かさぶた (1) 乾燥 (1) 方法 (1) 一般的 (1) 治る (1) 時間 (1) 傷跡 (1) 残りやすい (1)	
文章⑨	ぴったり覆って (3) 湿潤状態 (6) 保つ方法 (1) 100年来 (1)	湿潤状態 (1)
文章⑩	傷つく (1) 発揮される (1)	
文章⑪	傷口 (1) 体液 (3) 役割 (1)	
文章⑫	体液 (1) コラーゲン (2) 毛細血管 (1) 埋めていく (2)	
文章⑬	体液 (1) カクテル (18) 乾燥 (2)	カクテル (1)
文章⑭	異物 (1)	
文章⑮	破壊 (1)	
文章⑯	引っ張られて (1)	
文章⑰		カット絆 (1)
文章⑱	体液 (1) カット絆 (1) 湿潤状態 (6)	カット絆 (1) 湿潤状態 (1)

C-4 理解できない理由

「一部わかるがわからないところがある」および「全くわからない」と答えた対象者、いわゆる非理解層が挙げた単語について、「理解できない理由」について解析した。その結果をFig. 3に示す。「単語そのものの意味はわかるが、文章での意味がわからない」と答えた人が82.4%と、文章中での単語の意味が読み取れないことにより、文章の意味が理解できていない人が多くをしめていた。この結果を「薬のしおり」と「医療記事」で比較してみると、「単語そのものの意味、文章の意味が分らない」と答えた人の割合は、「薬のしおり」が29.0%、「医療記事」では8.6%と、「薬のしおり」難解な単語が含まれた文章とした人が多かった。

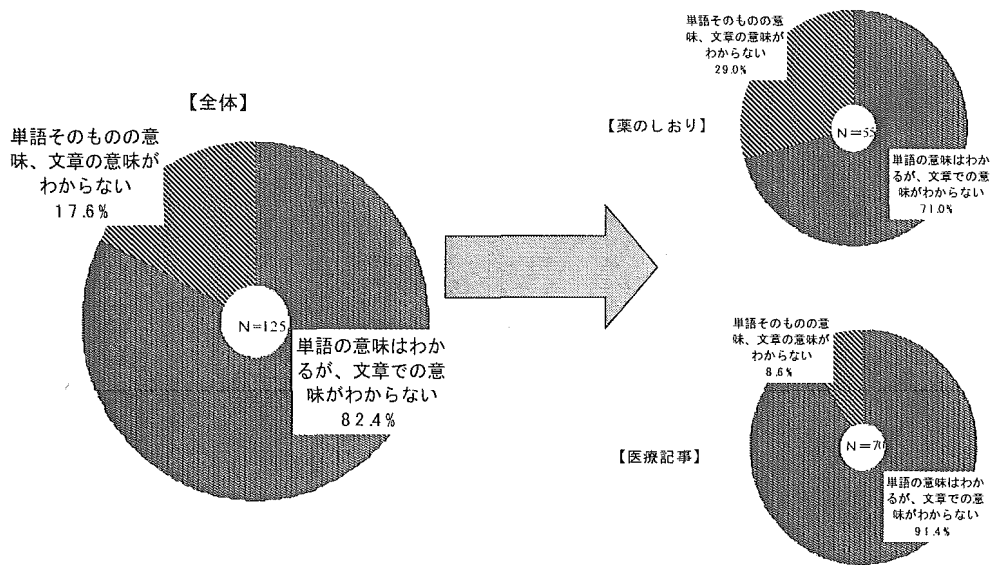


Fig. 3 理解できない理由：「薬のしおり」と「医療記事」の比較

「理解できない理由」を性別で見ると、「単語そのものの意味、文章の意味が分らない」と答えた人は男性では21.3%、女性では15.4%と、男性の方が難解な単語が含まれた文章とした人が多かった。年齢層別にみると、「単語そのものの意味、文章の意味が分らない」と答えた人は、年齢層が上がるほど少なくなっており、最も多かった年齢層は20歳代で、36.8%だった (Fig. 4)。

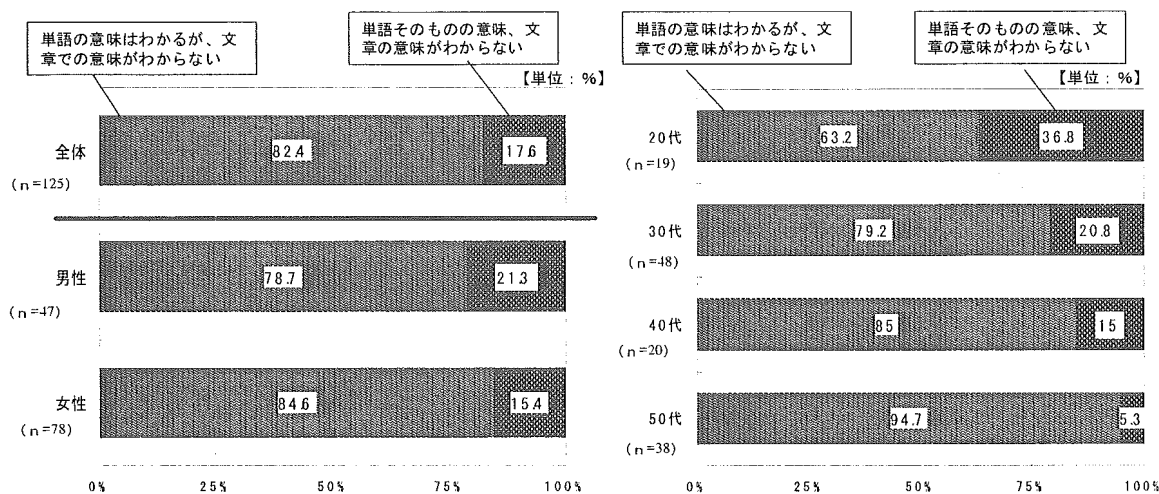


Fig. 4 理解できない理由：「性別」と「年齢層別」

「理解できない理由」を、最近の入院、長期治療経験別で解析した。「単語そのものの意味、文章の意味が分からない」と答えた人の割合を比べてみると、自分自身入院をしたり長い治療を受けたことがある人では「単語そのものの意味、文章の意味が分からない」と答えた人はいなかったが、同居する家族が入院や長い治療をうけたことがある人では3.4%、どちらにも当てはまらない人が27.5%と、本人と入院・治療の関係が薄いと考えられる人ほど、難解な単語が含まれた文章であると答える傾向にあった。

医療・薬事情報への関心度別では関心度が薄れるほど「単語そのものの意味、文章の意味が分からない」と回答した人の割合が多くなり、医療・薬事情報への関心が「あまり興味や関心がない」人では75.0%と最も多かった (Fig. 5)。

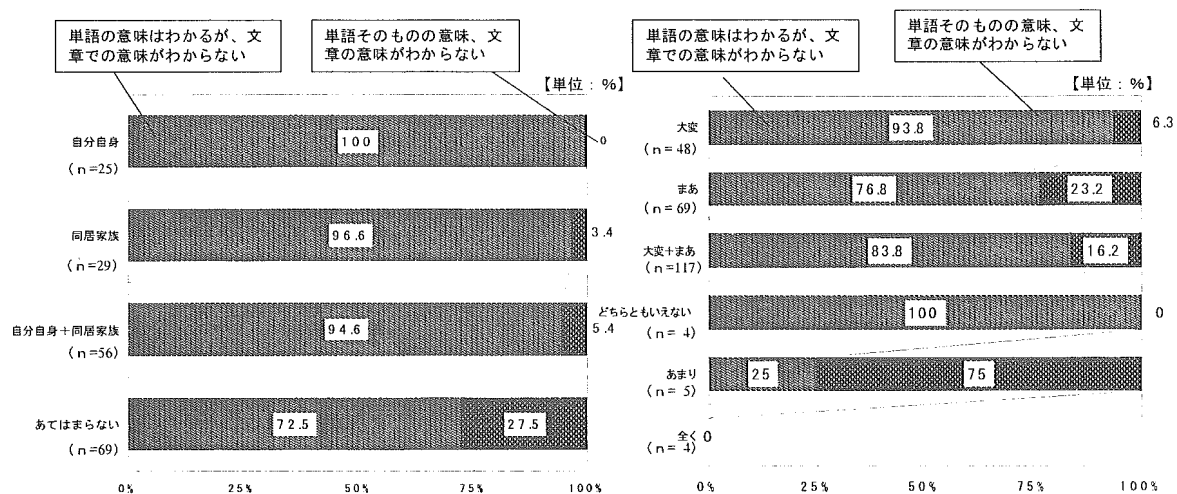


Fig. 5 理解できない理由：「入院・長期治療別」と「医療・薬事情報への関心度別」

C-5 「薬のしおり」に使用されている文章を理解できない理由

「薬のしおり」に使用されている文章が理解できない理由を性別でみたところ、「単語そのものの意味、文章の意味が分らない」と答えた人の割合は、男性が 27.3%であったのに対し、女性では 30.3%と女性の方が「薬のしおり」を難解な文章とした人が多かった。また、年齢層別に比べると、年齢層が上がるほど「単語そのものの意味、文章の意味が分らない」と答えた人の割合が低下しており、20 歳台では 43.3%と約半数をしめた (Fig. 6)。

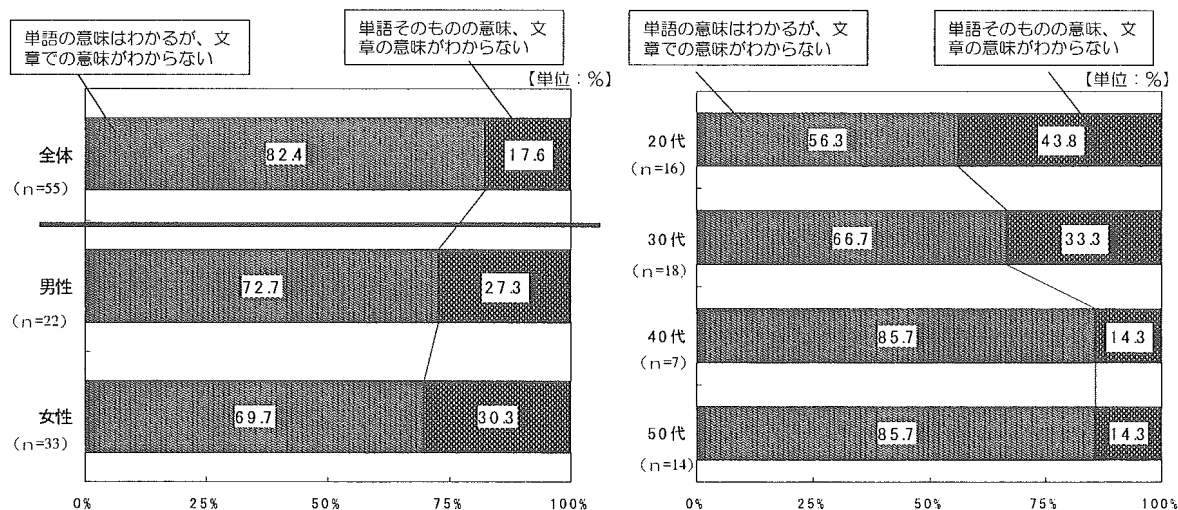


Fig. 6 「お薬のしおり」を理解できない理由：「性別」と「年齢層別」

次に「薬のしおり」に使用されている文章が理解できない理由を、最近の入院経験別で解析した。自分自身が入院をしたり長い治療を受けたことがある人では「単語そのものの意味、文章の意味が分らない」と答えた人はいなかったが、同居する家族が入院や長い治療を受けたことがある人では 8.3%、どちらにも当てはまらない人が 40.5%と、非常に高い割合を示し、本人と入院の関係が薄いと考えられる人ほど、「薬のしおり」を難解な単語が含まれた文章としていた (Fig. 7)。

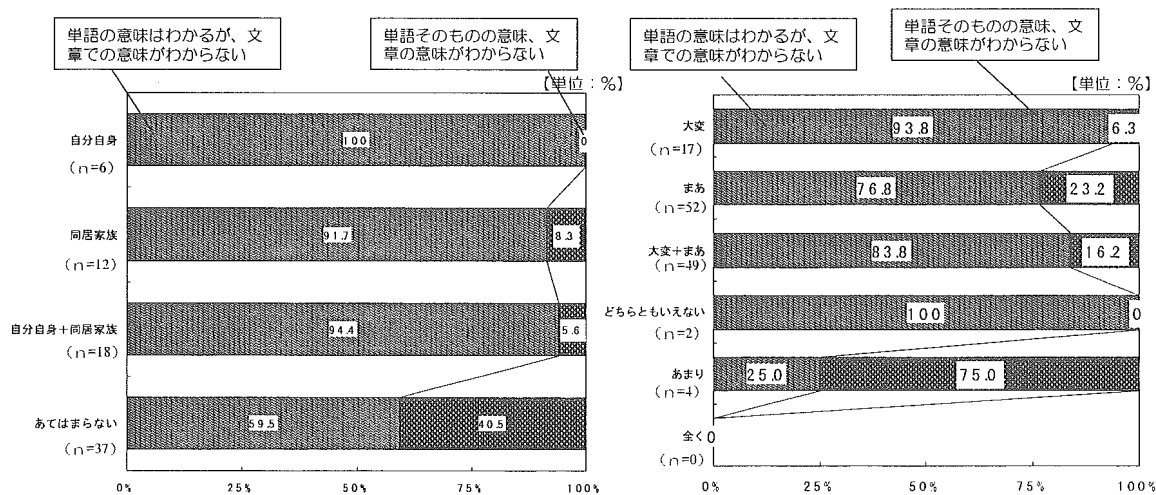


Fig. 7 「お薬のしおり」を理解できない理由：「入院・長期治療別」と「医療・薬事情報への関心度別」

C-6 「医療記事」に使用されている文章を理解できない理由

「医療記事」に使用されている文章が理解できない理由を、性別でみたところ、「単語そのものの意味、文章の意味が分らない」と答えた人の割合は、女性が4.4%であったのに対し、男性では16.0%と、男性の方が多かった。また、年齢層別に比べてところ、「単語そのものの意味、文章の意味が分らない」と答えた人の割合は、30歳台13.3%、40歳台15.4%のみの回答であった (Fig. 8)。

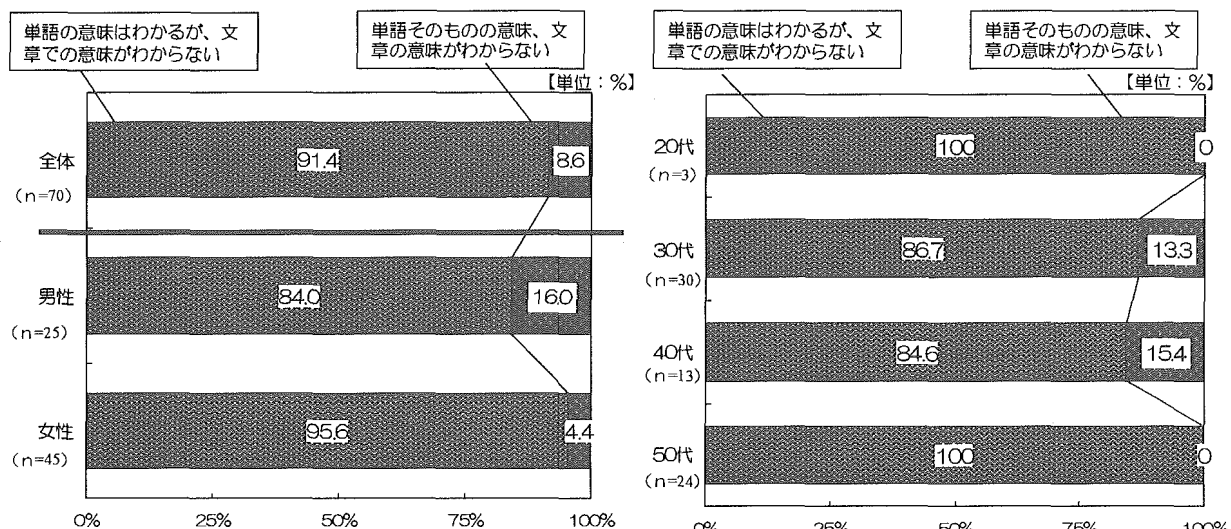


Fig. 8 「医療記事」を理解できない理由：「性別」と「年齢層別」

次に「医療記事」に使用されている文章が理解できない理由を、最近の入院経験別で解析した。自分自身入院をしたり長い治療を受けたことがある人では「単語そのものの意味、文章の意味が分らない」と答えた人は9.5%で、同居する家族が入院や長い治療を受けたことがある人では12.5%であった。次に、医療・薬事情報への興味別にみたところ、「単語そのものの意味、文章の意味が分らない」と答えた人は大変興味や関心がある人では6.5%、まあ興味や関心がある人では10.8%であった (Fig. 9)。

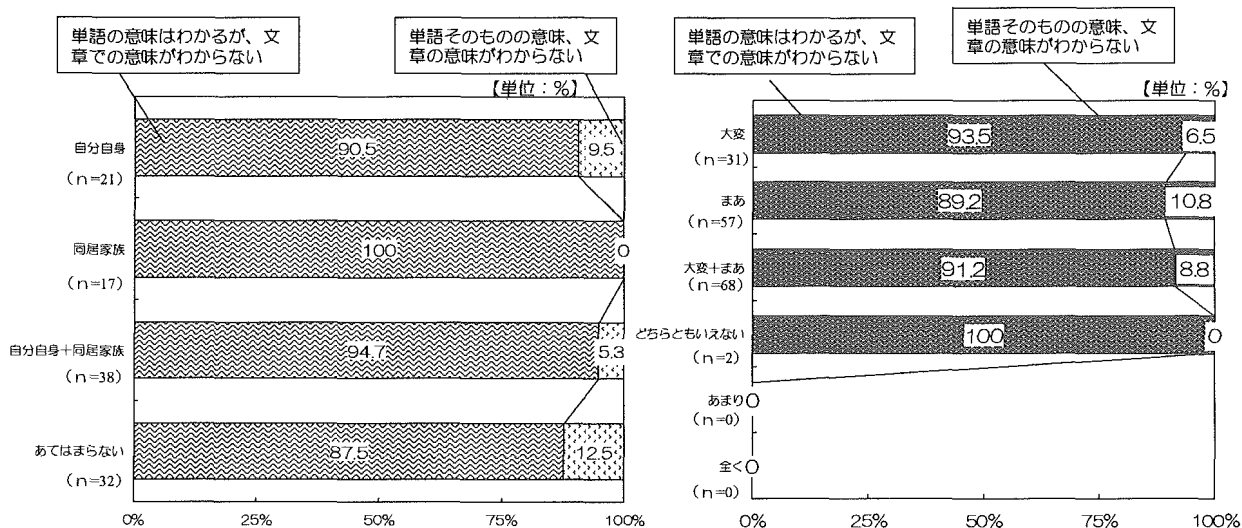


Fig. 9 「医療記事」を理解できない理由：「入院・長期治療別」と「医療・薬事情報への関心度別」

D. 考 察

全体的に理解度は高く、「薬のしおり」および「医療記事」ともに文章の意味が分からないと回答した人の割合は少なかった。「薬のしおり」の文章の中で意味が分からないと回答した人の割合が多かった「文章②」では、「セフェム系」「ペニシリン系」「気管支喘息」等の医療の専門用語が多く含まれている。しかしながら「分からない単語もあったが全体は分った」と答えた人が6割弱を占めており、医療の専門用語を使用しても、その単語自体の意味は分からないが、呈示した文章の意味を理解することはできたと考えられる。「医療記事」の文章の中で意味が分からないと回答した人の割合が多かった「文章⑩」においても、「体液」「コラーゲン」「毛細血管」等が「文章の意味が分からない」と答えた人の間で挙がっていることから同様のことが考えられる。この2例から、文章中に医療の専門用語が含まれていて、単語そのものの意味が解っていなくても、呈示した文や前後の文からある程度の内容を推測できるため、文章の意味を理解することができたと考えられる。必ずしも専門用語が理解の妨げとなっていないことがわかった。

また、「文章⑨」では、「ぴったり覆って」や「保つ」など、説明の内容に想像がめぐらせられないために文章での意味がわからなかったり、「湿潤状態」や「気管支喘息」などは漢字の読み方がわからないことも考えられた。

「文章⑬」では「体液」などの医療の専門用語と考えられるものも挙がっているが、「カクテル」といった比喩的な表現が使用され、それに対する理解が得られなかったり、想像が出来なかった事が考えられる。その他「カット絆」などは一般用語では理解されず、商品名（例：バンドエイド[®]など）であれば理解が得られると考えられる例も挙げた。

次に、理解できない理由を単語の理解度でみると、年齢層別では若年であるほど、単語そのものの意味がわからないために文章の意味がわからないと答えた人の割合が多かった。これは年齢層が上がるほど国語力や一般的な文章への接触経験などが多くなり、文章の理解度が増すことが考えられた。逆に、年齢層が高くなるほど「単語の意味はわかるが、文章での意味がわからない」と答えた人の割合が多かった。このことは、年齢層が高くなるほど、意味がわからない単語から文章の意味を想像しにくくなるか、または年齢層が高いほど文章中における単語の意味をしっかりと把握しようとする傾向がでていることが考えられた。したがって、若年層にも理解しやすい単語を用い、その単語を使用した文章の意味を高年齢層が理解できるかを確認することで、国民全体への理解が得やすいと考えられた。

今回の調査では、文章の意味を理解するにあたり妨げとなっている単語を挙げる形で理解度の調査を行ったが、さらに理解度を明確にするためには、「文章の意味がわかった」と回答した人に対して、誤解なく意味が通じているか調査する必要があると思われる。これらの調査することが、正しい医療情報の伝達につながるものと考えられた。

資料 1

くすりのしおり

この薬の名前は	商品名:フロモックス錠 75mg 英語名:Flomox 一般名:cefcapene pivoxil hydrochloride	剤形:錠剤 (直径約 7.6mm) 錠剤の色:白色 シート面の記載:フロモックス 75		
この薬の働きは	①感染症 (病気) の原因となる細菌が身体の病巣 (病んだ部位) で増えるのをおさえる薬です。			
主治医に伝え忘れたことはありませんか	<p>◆②次のような人は使う前に主治医に相談して下さい。</p> <p>以前にこの薬やこの系統 (セフェム系) またはペニシリン系の抗生物質で、<u>ショック</u>、<u>発疹等のアレルギー症状</u>を起したことがある人、<u>あなた自身または両親、兄弟が気管支喘息、発疹、じんましん等のアレルギー症状</u>を起したことがある人、<u>腎臓の病気</u>のある人。</p> <p>◆ほかに薬を使っている場合 (薬局で買った薬も) その薬と病気について伝えて下さい。</p> <p>◆妊娠中または授乳中の場合 主治医に妊娠している、妊娠している可能性がある、あるいは授乳していることを必ず伝えて下さい。</p>			
この薬の使い方	<p>◆飲み方 必ず指示に従ってください。飲むときは、必ずコップ1杯の水と一緒に食後に飲んで下さい。必ずシートからとりだして飲んでください。</p> <p>◆③飲み忘れた場合 気がついたときにできるだけ早く、1回分を飲み、あとは指示どおりの時間に飲んで下さい。</p> <p>◆④高齢者の場合 特に主治医の指示を守って飲んで下さい。</p> <p>◆あやまって多く飲んだ場合 すぐに主治医に連絡して下さい。</p> <p>◆その他 主治医の指示なしに薬を中止しないで下さい。</p>			
生活上の注意	飲む直前に錠剤を取り出して下さい。 小児の手の届かない所に保管して下さい。			
この薬を飲んだあと 気をつけていた だくこと (副作用)	<p>・⑤薬は人によって、<u>目的の効果</u> 以外に、<u>望ましくない作用</u>が出る場合もあります。</p> <p>◆⑥次のような症状に気づいたら、<u>使用をやめてすぐに主治医に相談</u>して下さい。 <u>胸がドキドキする</u>、<u>息苦しい</u>、<u>めまい</u>、<u>発汗</u>、<u>発疹や皮膚のかゆみ</u>、<u>全身の皮膚がひどく痛い</u>、<u>皮膚や粘膜の水ぶくれ</u>、<u>顔や手足のむくみ</u>、<u>のどが痛い</u>、<u>発熱</u>、<u>腹痛・下痢が続く</u>、<u>咳が出る</u>、<u>皮膚や白目が黄色くなる</u>。</p> <p>◇⑦次のような症状に気づいたら、なるべく早めに主治医に相談して下さい。 <u>下痢</u>、<u>むかむかする</u>、<u>胃痛</u>、<u>体がだるい</u>、<u>頭痛</u>、<u>眠気</u>、<u>めまい</u>、<u>手足がしびれる</u></p> <p>・ほかにも何か変だなと感じたら、主治医または薬剤師に相談して下さい。</p>			
その他(コメント)	<p>・子供の手の届かない所に保管して下さい。</p> <p>・シートの中から薬を取り出して服用して下さい。</p>			
主治医の連絡先	TEL	<table border="1"> <tr> <td>薬局の 連絡先</td> <td>TEL</td> </tr> </table>	薬局の 連絡先	TEL
薬局の 連絡先	TEL			

*ここには知っておいて頂きたい主な事柄だけが書いてあります。更にくわしく知りたいときは主治医またはこのお薬を渡された薬剤師におたずね下さい。

「資料 1.」をお読みいただいてからお答えください。

文章①についてお伺いいたします。

① 感染症（病気）の原因となる細菌が身体の病巣（病んだ部位）で増えるのをおさえる薬です。

Q1. この文章の意味はわかりましたか。

- 1) 文章全体がわかった → Q2.へ
- 2) わらない単語もあるが文章全体の意味はわかった → Q2.へ
- 3) 一部わかるがわからないところがある → SQ1.へ
- 4) 全くわからない → SQ1.へ

SQ1. (Q1.で 3)～4) と答えた人にお聞きします。

では、この文章であなたがわからなかった部分を (A) の①～⑧の中から全てをお選びください。
また、そのわからなかったことについて最も近いものを (B) の 1.～2.中からそれぞれ1つずつお選び下さい。

(A)

感染症（病気）の原因となる細菌が身体の病巣（病んだ部位）で増えるのをおさえる薬です。

- ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

(B)

1. 単語の意味はわかるが、この文章での意味がわからない
2. 単語そのものの意味がわからないので文章の意味がわからない

文章②についてお伺いいたします

②次のような人は使う前に主治医に相談して下さい。

以前にこの薬やこの系統（セフェム系）またはペニシリン系の抗生物質で、ショック、発疹等の
アレルギー症状を起したことがある人、あなた自身または両親、兄弟が気管支喘息、発疹、じんまし
んのアレルギー症状を起したことがある人、腎臓の病気のある人。

Q2. この文章の意味はわかりましたか。

- 1) 文章全体がわかった → Q3.へ
- 2) わらない単語もあるが文章全体の意味はわかった → Q3.へ
- 3) 一部わかるがわからないところがある → SQ1.へ
- 4) 全くわからない → SQ1.へ

SQ1. (Q2.で 3)～4) と答えた人にお聞きします。

では、この文章であなたがわからなかった部分を (A) の①～⑱の中から全てをお選びください。
また、そのわからなかったことについて最も近いものを (B) の 1.～2.中からそれぞれ1つずつお選び下さい。

(A)

次のような人は使う前に主治医に相談して下さい。

① ②

以前にこの薬やこの系統（セフェム系）またはペニシリン系の抗生物質で、ショック、発疹等の

③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

アレルギー症状を起したことがある人、あなた自身または両親、兄弟が気管支喘息、発疹、じんましん

⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯

等のアレルギー症状を起したことがある人、腎臓の病気のある人。

⑰

(B)

1. 単語の意味はわかるが、この文章での意味がわからない
2. 単語そのものの意味がわからないので文章の意味がわからない

文章③についてお伺いいたします

③飲み忘れた場合

気がついたときにできるだけ早く 1回分を飲み、あとは指示どおりの時間に飲んで下さい。

Q3. この文章の意味はわかりましたか。

- 1) 文章全体がわかった → Q4.へ
- 2) わらない単語もあるが文章全体の意味はわかった → Q4.へ
- 3) 一部わかるがわからないところがある → SQ1.へ
- 4) 全くわからない → SQ1.へ

SQ1. (Q3.で 3)～4) と答えた人にお聞きします。

では、この文章であなたがわからなかった部分を (A) の①～⑥の中から全てをお選びください。
また、そのわからなかったことについて最も近いものを (B) の1.～2.中からそれぞれ1つずつお選び下さい。

(A)

飲み忘れた場合 気がついたときにできるだけ早く 1回分を飲み、あとは指示どおりの時間に飲んで下さい。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

(B)

1. 単語の意味はわかるが、この文章での意味がわからない
2. 単語そのものの意味がわからないので文章の意味がわからない

文章④についてお伺いいたします

④高齢者の場合

特に主治医の指示を守って飲んで下さい。

Q4. この文章の意味はわかりましたか。

- 1) 文章全体がわかった → Q5.へ
- 2) わらない単語もあるが文章全体の意味はわかった → Q5.へ
- 3) 一部わかるがわからないところがある → SQ1.へ
- 4) 全くわからない → SQ1.へ

SQ1. (Q4.で 3)～4) と答えた人にお聞きします。)

では、この文章であなたがわからなかった部分を (A) の①～③の中から全てをお選びください。
また、そのわからなかったことについて最も近いものを (B) の 1.～2.中からそれぞれ 1 つずつお
選び下さい。

(A)

高齢者の場合特に主治医の指示を守って飲んで下さい。

- ① ② ③

(B)

1. 単語の意味はわかるが、この文章での意味がわからない
2. 単語そのものの意味がわからないので文章の意味がわからない

文章⑤についてお伺いいたします

⑦薬は人によって、目的の効果 以外に、望ましくない作用が出る場合もあります。

Q5. この文章の意味はわかりましたか。

- 1) 文章全体がわかった → Q6.へ
- 2) わらない単語もあるが文章全体の意味はわかった → Q6.へ
- 3) 一部わかるがわからないところがある → SQ1.へ
- 4) 全くわからない → SQ1.へ

SQ1. (Q5.で 3)～4) と答えた人にお聞きします。)

では、この文章であなたがわからなかった部分を (A) の①～⑤の中から全てをお選びください。
また、そのわからなかったことについて最も近いものを (B) の 1.～2.中からそれぞれ 1 つずつお
選び下さい。

(A)

薬は人によって、目的の効果 以外に、望ましくない作用が出る場合もあります。

- ① ② ③ ④ ⑤

(B)

1. 単語の意味はわかるが、この文章での意味がわからない
2. 単語そのものの意味がわからないので文章の意味がわからない